

令和5年度 北九州市立洞北中学校 学校経営方針

校長 竹中 雅則

【学校教育目標】

自分のよさや可能性を伸ばし、グローバル社会の中で**自ら考え**
心豊かにたくましく生きる生徒の育成

<校 訓>

自主 協同 友愛

めざす学校像

- 明るく活気のある笑顔あふれる楽しい学校
- 安全・安心で美しく学習環境の整った学校
- 生徒一人一人の学力・体力・人間力が向上する学校
- 社会の変化に対応できる力の基礎を培う学校
- 地域や保護者に信頼され期待される学校

めざす生徒像

- 「凡事徹底」当たり前のことを当たり前でできる生徒
- 思いやりの気持ちを持ち、自ら考えて行動することができる生徒
- 何事にも挑戦し、自己実現を目指して主体的に学ぶ生徒
- 良好な人間関係を築き、自らの力を生かして社会に貢献することができる生徒

めざす教師像

- 生徒への愛情と公務員としての使命感を持ち、教育のプロとして資質向上に努める教師
- 同僚・生徒・保護者・地域と好ましい人間関係を築き、率先して生徒に範を示す教師
- 自らのキャリアステージに応じた働き方を考え、ワークライフバランスをとれる教師

洞北中学校 「3つの合い言葉」

～生徒も教師も当たり前のことを当たり前～

「**時を守り**」 → 時刻・時間、期限を守る → 「人を尊重すること」

「**場を整え**」 → 気づく清掃をする → 「人のために尽くすこと」

「**礼を正す**」 → 挨拶・返事をする → 「人と良好な関係をつくる」

本年度の重点目標

- (1) 生徒の安心・安全の確保 「『いってきます』と家を出た生徒を『ただいま』と家に帰す」
- ① 自らの命を自分で守ることができる生徒の育成（コロナ対応、自転車通学、心のケア、防災等）
 - ② 安全・安心な学校環境整備のための取組の徹底
 - ③ いじめ、虐待、ヤングケアラーの早期発見、即時対応
- (2) 主体的に学び、解決するための確かな学力の育成 「授業の中に教育のすべてがある」
- ① 新学習指導要領の学力観に基づく、生徒の学びを深めるための授業改善
 - ② PDCA サイクルに基づいた指導と評価の一体化
 - ③ ICT 活用の推進・教育の情報化
 - ④ 家庭学習習慣の確立
 - ⑤ 生徒一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
 - ⑥ SDGs の視点に基づくカリキュラムマネジメントの推進（外部事業の積極的な活用）
 - ⑦ 英語教育リーディングスクールとしての英語教育の推進
- (3) 人権尊重の精神を重んじ、他を思いやる心豊かな生徒の育成 「最後は人間性」
- ① 生徒一人一人が活躍する生徒会活動の充実（生徒自治の推進）
 - ② 温かで支え合う学級集団、学年集団作り（リーダーの育成）
 - ③ 生徒一人一人の学びの保障
- (4) 積極的な生徒指導 「生徒指導の三機能」
- 『自己決定の場を与えること』『自己存在感を与えること』『共感的な人間関係を育成すること』
- ① 支持的風土の温かで高め合う学級・学年集団づくり
 - ② 報告・連絡・相談・記録の徹底
 - ③ 職員間、関係機関との連携強化
- (5) 信頼される教師集団 「説明責任」「危機管理のさ・し・す・せ・そ」
- ① 教師の人権感覚の向上（言葉を遣う力、いじめや虐待を見抜く力）
 - ② 率先して範を示す職員集団
 - ③ 働き方改革、不祥事防止研修の徹底
 - ④ 業務改善に向けたアイデアの積極的提案
 - ⑤ キャリアステージに応じた人材育成
- (6) 開かれた学校づくり 「コミュニティ・スクール(学校運営協議会)」「地域とともにある学校」
- ① 学校評価の積極的活用
 - ② 各種通信、学校ホームページなどを通じた積極的な情報発信
 - ③ 洞北中校区の小中連携（学び、生徒指導、人権教育等）
 - ④ 「洞北中サポーター」である保護者（PTA）や地域との連携強化